

久野康成の 「私なら、こうする!」 非常識な実践経営アドバイス

第55回



Question

計画を作つてもなかなか実行させることができません。実行させるために良い方法はありませんか?

(愛知県 営業部長 53歳)

Answer その2

**起業家精神を身に付ければ
自ら計画し行動できる**

計画は「頭」で作られ、「感情」によって行動が引き起こされま
 す。計画と実行は全く異なる要素が要求されるのです。

行動に必要なモチベーションは、心の在り方、つまり精神力に

より決まると言つても過言ではありません。新しいことに対し
 て挑戦する精神は、「起業家精

神」と呼ばれます。この素養が高
 ければ、自ら計画し行動するこ
 とができるでしょう。

起業家精神は学習によつて簡
 単に身に付けられるものではな
 く、先天的要素は確かにあると

思います。しかしながら、成功した経営者を分析すると、生い立ちや生活環境によつて大きな影響を受けていることが分かります。後天的に身に付けられるものであれば、われわれも学習し、養うことができます。

ソフバンクの創業者、孫正義氏は、日本人でないことにより幼少時代に不当な差別やいじめを受け、20代前半に大病を患いました。この体験で、生きることの尊さやはかなさを知り、世界最大にして、300年続く企業

を作つたといわれています。多くの戦友が戦争で死んだ中で、自分が生き残り、生きる意義をその中から見いだ

ワタミの創業者、渡邊美樹氏

やグッドウイルの創業者、折口雅博氏は、父親が経営者で幼少期は豊かな生活を送っていました。それが父親の会社の倒産で、共に極貧生活を余儀なくされました。この体験が起業家を目指す原点となり、2人に鉄の意志をもたらしたと思います。

ライブドアの元社長、堀江貴文氏は、子ども時代に親から誤った価値観を植え付けられたと信じ込み、両親との正しい関係形成ができませんでした。これが親や社会に対する反抗心を生み、起業家になつた後も、既存の社会システムへの挑戦を行いました。結果として、このような行動が社会からの反発を買つ刑事事件を引き起こしました。

このように考えると、起業家精神は、「戦争体験」、「病気」などを通じて、若い時に明確な生死観を持ちえたこと、または「極貧生活」「差別」「反抗心」からくる上昇志向などの特殊な体験によって、形成されるものかもしれません。そして、彼らは、普通の人とは異なる生き方を選択し、強烈なモチベーションを維持して企業を巨大化させることに成功したのでしょうか。

折口氏のその後の大きな違いになりましたのかかもしれません。普通の人間では持ちえない超人的パワーのようでもあります。それでもたらされたものと考えると、普通の人間では持ちえない超人の体験に身に付くものではありません。

偉人の伝記や起業家の著作を読めば行動が変わる

特殊な体験は、自分が主体的に生きているのではなく、何か大きな力によって「生かされている」と思われる力を持つています。そして、結果的に社会的に大きな事業を行おうと思うようになります。

貧乏、差別、反抗心は、私的な向上心を生みます。決して他人のために何をしようと思うのではなく、自分の成功が第1の目的となります。しかし、この発想は、企業が大きくなるプロセスで従業員や社会との間に摩擦を引き起こします。起業して数年間は、私的ののみを目指しても大きな問題は起きないかもしれませんのが、私的の成功から公的

成功へ目標を転換しない限り、企業は存続しません。もしか

するところの違いが、渡邊氏と折口氏のその後の大きな違いになります。起業家精神は、特殊な体験によつてもたらされたものと考えると、簡単に身に付くものではありません。

しかし、諦める必要はありません。起業家精神が特殊な体験からもたらされるものであれば、そのような体験の「疑似体験」をすればよいのです。

子どもの頃、世界のさまざま

な偉人の伝記を読むことが推奨されます。これは、ある意味、本を読むことで偉人の疑似体験をし、良い人格形成に役立つ方法だと思います。偉人の伝記だけではなく、たくさん

(このコーナーでは、経営に関するよろず相談を読者の皆様から受け付け、実践的アドバイスとしてお答えしております)

ロセスで人と異なる思考法を身に付け、行動できるようになったのかが分かれます。自分と比較すると、自分がいかに小さな人間かが分かりますが、少しでも近づきたいと私は思っています。私は、社員に経営者の本をたくさん読むことを推薦しています。そして、早く好きな経営者を見つけさせます。こんな人間になりたいと思えば、近づくための行動ができるようになるのではないか?

[プロフィール]

久野康成(くの・やすなり)
公認会計士。人財開発・東京コンサルティングファーム会長兼CEO。東京税理士法人統括代表社員。1965年生まれ。愛知県出身。滋賀大学経済学部を卒業後、青山監査法人(プライス オーダーハウス)入所。監査部門・中堅企業経営支援部門にて、主に株式公開コンサルティング業に携わる。98年久野康成公認会計士事務所を設立。東京のほか、横浜、名古屋、大阪、インドにて「第2の会計事務所」として会社を設立。経理部門へのスタッフ派遣・紹介など幅広い事業を展開し、グループ社員総数は360人に上る。著書に『できる若者は3年で辞める!』『2008年版 図解インドの投資・会計・税務の基本』『母性の経営—management therapy』(共に出版文化社)がある。